

厚年基金代行割れ 厚労省改革試案

信濃毎日新聞朝刊、2012年11月3日

穴埋めには賛否両論：高山憲之一橋大特任教授の話

厚生年金は産業や企業の盛衰にかかわらず、会社員同士が老後生活を支え合う仕組みだ。厚生年金基金はこの仕組みから離脱して、基金に加入する企業だけが得られるメリットを享受してきた。基金を設立できなかった多数派の企業は、厚年基金に離脱されて困ったはずだ。右肩上がりの時代に、得をしていた厚年基金が、右肩下がりで財政難に陥ったので、助けてほしいというのではバランスが悪い。

厚年基金加入者がペナルティーを受けない場合、厚生年金本体からの穴埋めは許し難いかも。他方、不足した積立金を積み増す余力が、基金に加入する中小零細企業にないので、穴埋めはやむを得ないと割り切る考え方もある。

(共同通信配信：取材は関矢充人記者)